

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	前期
授業科目名 (Course name)	サービス・ラーニング実習Ⅰ		
担当者 (Instructors)	柿原 聖治, 白井 克尚, 新實 広記, 堀 篤実, 山本 かほる, 渡邊 明宏	配当年次 (Dividend year)	1
単位数 (Credits)	1	必修・選択 (Required / selection)	選択
実務家教員科目 (Pro teacher course)			

■授業の目的と概要 (Course purpose/outline)	
<p>「サービス・ラーニング」実習を通じて、教育現場に触れ、子ども達や現場教員と関わる中で体験したことを通じて学び自らの課題を発見する。「サービス・ラーニング」実習は、2年次以降から始まる教育実習、保育実習に向けて不安や苦手意識を克服するための「プレ教育実習」である。また、対面授業では対話、グループワーク、実技を取り入れた授業を中心に、体験的に学ぶ。オンデマンド授業では、講義、調べごと学習を中心に行う。</p>	

■授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態 (Class form)	実験・実習
授業の方法 (Class method)	授業の方法は、「サービス・ラーニング」実習経験を通じて学ぶ。
当該科目と実務との関係 (Relationship between course and practice)	保育者や小学校教員の経験を活かし、現場保育者や教員と連携を取りながら、実際に子どもと触れ合える授業の環境づくりを行う。

■各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	オリエンテーション ハンドブックの説明	「サービス・ラーニング」の心得、各種手続きについて知る。	<input type="checkbox"/>
第2回	「サービス・ラーニング」事前指導	「サービス・ラーニング」実習に向けて身だしなみ、言葉遣い、お礼状の書き方などを習得する。	<input type="checkbox"/>
第3回	「サービス・ラーニング」体験談のスピーチ	「サービス・ラーニング」実習経験者の先輩から体験談スピーチを聞く。	<input type="checkbox"/>
第4回	小学校学芸会・作品展「サービス・ラーニング」	名東区内における小学校学芸会・作品展の活動を手伝う。	<input type="checkbox"/>
第5回	小学校授業参観見学	名東区内における小学校授業参観の見学を行う。	<input type="checkbox"/>
第6回	児童館「サービス・ラーニング」(企画、準備)	児童館における子どもたちの活動補助やお祭り、イベントの企画、準備を手伝う。	<input type="checkbox"/>
第7回	児童館「サービス・ラーニング」(活動実施)	児童館における子どもたちの活動補助やお祭り、イベントの活動を行う。	<input type="checkbox"/>
第8回	「サービス・ラーニング」中間指導と振り返り	「サービス・ラーニング」実習先からの評価や自己評価を踏まえた中間指導。	<input type="checkbox"/>
第9回	子育て支援「サービス・ラーニング」(活動補助)	名東区子育て支援の活動補助を行う。	<input type="checkbox"/>
第10回	幼稚園遠足「サービス・ラーニング」(活動補助)	幼稚園における遠足に参加し活動補助を行う。	<input type="checkbox"/>
第11回	幼稚園運動会「サービス・ラーニング」(活動補助)	幼稚園における運動会の活動補助を行う。	<input type="checkbox"/>
第12回	保育所「サービス・ラーニング」(準備)	保育所における遠足やお祭り、運動会の準備を手伝う。	<input type="checkbox"/>
第13回	保育所「サービス・ラーニング」(活動補助)	保育所における遠足やお祭り、運動会の活動補助を行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	実習事後指導と報告会準備	「サービス・ラーニング」実習先からの評価と自己評価を踏まえた事後指導と報告会準備を行う。	<input type="checkbox"/>

第15回	「サービス・ラーニング」報告会	「サービス・ラーニング」実習の報告会を行い、実習を通じた学びを共有する。	□
------	-----------------	--------------------------------------	---

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

・「サービス・ラーニング」実習のスケジュール計画と事前準備を行う。（2時間程度） ・実習後にレポートを記入し、振り返りを行い明らかになった自らの課題を次回の実習に向け改善する。（2時間程度）

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

提出された実習記録は、授業においてフィードバックし、全体で共有する機会を持つ。実践報告の発表は、感想交流を通してフィードバックし、全体で共有する機会を持つ。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	「サービス・ラーニング」実習において、自らの課題を見つけることができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	2年次からの実習に向けて教師・保育者としての多様な視点をもつことができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	「サービス・ラーニング」実習において、主体的に行動することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			60%	40%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

「サービス・ラーニング」実施報告レポートをもとに2年次からの実習に向けて教師・保育者としての多様な視点をもつことができたか、自らの課題を見つけることができたかを総合的に評価する。「サービス・ラーニング」実習状況と訪問指導をもとに、主体的に行動することができたかを参加意欲・態度として評価する。「サービス・ラーニング」報告会の準備と発表が十分にできていたかを評価する。オンライン授業は、授業振り返りの課題提出後に出席とする。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『サービス・ラーニング ハンドブック<第10版>』	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業時に必要に応じて適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		